

○令和2年2月5日 経済委員会4回現地視察を行いました。

県議会の各委員会では、閉会中の委員会活動として、毎年テーマを定めて現地視察を行い、関係者から御意見等を伺っております。

経済委員会では、今年度のテーマを「食品産業の振興について」、「観光の核となる地域資源の活性化による交流人口の拡大について」及び「農業の担い手確保・育成と基盤整備について」と定めており、今回3カ所の現地視察を行いました。

まず、三木町田中の「経営体育成基盤整備事業田中北部地区」を訪問し、地区の概要やほ場整備に取り組んだ経緯、農事組合法人設立による農地集積などの説明を受け、質疑を行った後、ほ場整備の現地視察を行いました。



次に、高松市の特別名勝「栗林公園」を訪問し、公園の概要や活性化に向けた主な取り組みやかがわ物産館「栗林庵」の概要やインバウンド対策などの取り組みについて説明を受け、質疑を行った後、様々な県産品を取扱っている栗林庵を視察しました。



最後に、高松市鹿角町の株式会社ルーヴを訪問し、会社概要や希少糖や和三盆糖、米粉など地元の産品を活用した商品づくり、健康に配慮した商品づくりなどについて説明を受け、質疑を行った後、店舗を視察しました。

